



ようこうしょうひつどくしょ 陽光小必読書



ようこうしょう 陽光小では、学年ごとに1年間でぜひ読んでほしい10冊を選んだ
“ようこうしょうひつどくしょ” というものがあります。4月の図書室の使い方の授業
で「1年間でこの10冊は頑張って読みましょう！」と紹介したところ、
さっそくひつどくしょ か すがた おお み ひつどくしょ ほんだな から
早速必読書を借りる姿が多く見られ、必読書の本棚がこんなに空っぽに
なっていました。とっても嬉しいです。必読書は1人1冊ずつ、順番に
借りて読んでくださいね。



こんげつ ひつどくしょ なか かくがくねん さつ しょうかい
今月は、必読書の中から各学年1冊ずつ紹介します。

1年生

『かいじゅうたちのいるところ』 モーリス・センダック



いたずらが好きな7歳の少年マックスは、母親とケンカをして家を飛び出し、気がつくと船に乗って大海にこぎ出していた。やがてたどりついた島には見たこともないかいじゅうたちがいて…。

2年生

『フレデリック』 レオ・レオニ



仲間（なかま）の野ねずみ（のねずみ）たちが冬（ふゆ）に備（そな）えて木（き）の美（み）などを貯（たくわ）えているのに、フレデリック（フレデリック）だけはなぜか何（なに）もせず（せず）に、ぼんやり（ぼんやり）としています。でも長い冬（ながいふゆ）、野ねずみ（のねずみ）たち（たち）を救（すく）ったのはフレデリック（フレデリック）でした。

3年生

『ちいちゃんのかげおくり』 あまんきみこ



夏の夜（なつよ）、空襲（くうしゅう）で家族（かぞく）と離（はな）れ、ひとりぼっち（ぼっち）で町（まち）をさまようちいちゃん。悲惨（ひさん）な戦争（せんそう）と、ちいちゃん（ちいちゃん）家族（かぞく）の物語（ものがたり）。

4年生

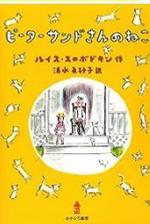
『セロひきのゴージュ』 宮沢賢治



楽団（がくだん）のセロひき（セロひき）ゴージュ（ゴージュ）は、下手（へた）でしかられ（られ）てばかり（ばかり）。そこで、演奏会（えんそうかい）にむけて夜（よる）おそくに家（いえ）でセロ（セロ）を一生懸命（いっしょうけんめい）練習（れんしゅう）していると、扉（とびら）を（とんとんと）たたか（たたか）音が（おと）入（はい）ってきたのは…。

5年生

『ピーターサンドさんのねこ』 ルイス スロポドキン



楽しいバカンス（バカンス）を過（すご）すために、別荘（べつそう）にやってきた人（ひと）たちはみんな「ねこ（ねこ）がい（がい）たら、いいの（の）にな」と思（おも）います。その願（ねが）いをかなえてくれるのが、ピーターサンド（ピーターサンド）さん（さん）でした。でも、ある夏（あるなつ）、事（こと）件（けん）が。

6年生

『ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか』 石井光太



「戦争（せんそう）はいけ（い）ない」「差別（さべつ）はいけ（い）ない」と言う（い）うだけ（だけ）では戦争（せんそう）も差別（さべつ）もな（な）くならない。作者（さくしゃ）の石井光太（いししいこうた）が「なぜ勉強（べんきょう）する（する）のか（のか）」を問（と）いかけ（かけ）る。

ようなん 陽南ライブラリーニュースコーナー

このコーナーでは、陽南地域（ようなんちいき）学校園（がっこうえん）の小中（しょうちゅう）学校の学校図書館（がっこうとしょかん）での様子（ようす）や、人気（にんき）の本（ほん）、先生方（せんせいがた）がおすす（すす）めする本（ほん）などを紹介（しょうかい）します。今回（こんかい）、陽南中（ようなんちゅうがっこう）学校（がっこう）です。

陽南中 図書館教育 平野先生おすすめの1冊

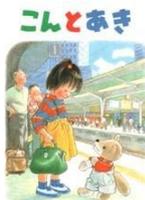
美しく小さな雑草の花図鑑
文：多由多恵子 写真：大作晃一



勝手にどんどん増えていく雑草。厄介者（やくがいもの）の植物（しょくぶつ）ですが、よく見ると美しく繊細（せんさい）な花（はな）を咲（さ）かせます。目を近づけて、見てください。けなげにたくましく、生き抜（ぬ）こうとする懸命（けんめい）さが垣間（かきま）見（み）れます

陽南中 司書 安達先生おすすめの1冊

こんとあき
作：林明子



「あき」が生まれた時（とき）におばあちゃん（おばあちゃん）が作（つく）ってくれたきつね（きつね）のぬいぐるみ「こん」。二人（ふたり）は、いつも一緒（いっしょ）に。お兄（おにい）ちゃん（お兄ちゃん）がぶ（ぶ）つてがんばる「こん」ですが、電車（でんしゃ）のドア（ドア）にっぽ（っぽ）をはさまれて…私（わたし）の癒（い）しの1冊（さつ）です。